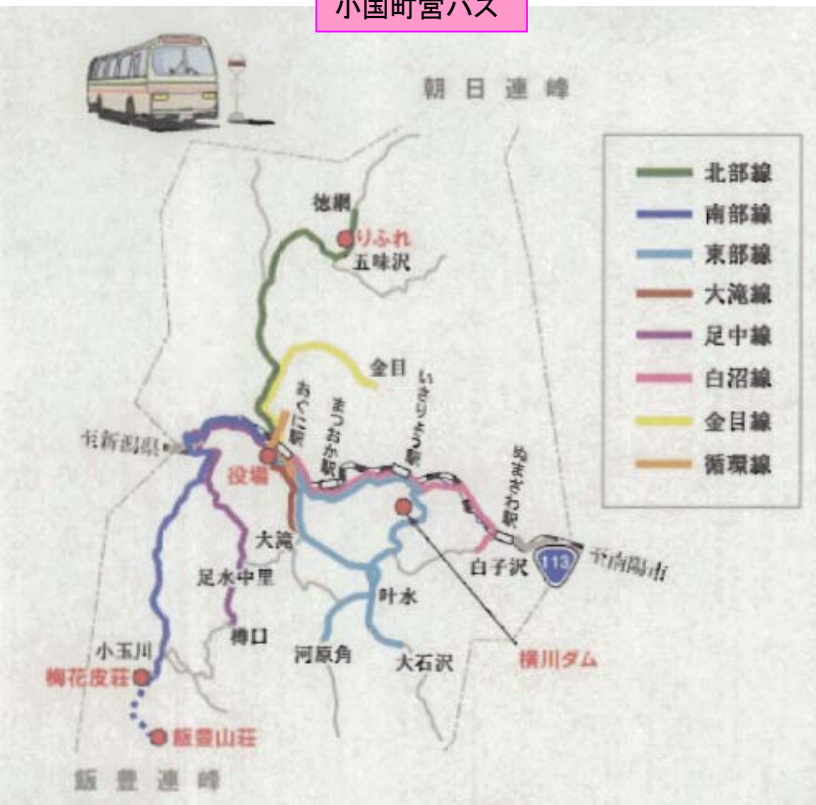
地域公共交通活性化・再生総合事業　**学校統合を踏まえた生活交通確保の取組み例　ー小国町ー**

概要

➢小国町では町内における高齢者等の通院、学生の通学のため町営バス8路線を運行しているが、利用者数は年々減少し、町の財政負担は大幅に増加している。また、平成25年を目途に小学校9校、中学校6校をそれぞれ1校に統合する計画が進められており、スクールバスの運行経費の増大が懸念されている。このため、町営バスとスクールバスとの共用運行、デマンドタクシーの導入、福祉有償運送、過疎地有償運送等の導入等について調査検討を行う。

小国町営バス



○地域公共交通の現況

・ＪＲ米坂線（小国駅、松岡駅、伊佐領駅、沼沢駅）
・高速バス山形～新潟線（バス停有り）
・町営バス（市町村運営有償運送）８路線
・スクールバス２台

○地域公共交通の課題

・町営バス利用者の減少→町の財政負担は大幅に増加
・町内の小中学校の統合（小学校９校、中学校６校を平成２５年を目途にそれぞれ１校に統合予定）
　→スクールバスの増便

○調査の主な内容

・公共交通の現状分析
・公共交通に対する町民の意識調査（アンケート調査）
・他の公共交通手法及び先進事例との比較検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

・新たな運行主体（福祉・過疎地有償運送）の導入
・デマンドタクシーの導入
・スクールバスと町営バスの共用運行